

【MINAMI BOOK LAB】「THE WAGASHI～西日野から世界へ～」を開催！

～地元・西日野から世界へ！ 職人魂と経営のリアルに、南高生も Act out!～

9月28日、図書館からの発信プロジェクト「MINAMI BOOK LAB」の企画として、本校の学校関係者評価委員も務めていただいている地元・西日野の老舗和菓子店「夢菓子工房 ことよ」代表取締役の岡本伸治様をお迎えし、「THE WAGASHI ～西日野から世界へ～」を開催しました（南高生・教職員の合計35人が参加）。

事後アンケートでは、参加南高生の全員が「大変良かった・満足した」と回答！本物の志と経営のリアルに触れ、会場となった図書館は、感動と熱気に包まれました。



■ 伝統を守り、世界へ挑む「職人魂」と「地域貢献」の哲学

ご講演スタイルでなく、南高生とのクロス・トークをとおして、日本の伝統文化である「和菓子」の技術や歴史にとどまらず、商品開発の裏側、「ニーズ」の捉え方、海外で和菓子文化を伝える挑戦、そして「地域に根ざす経営」について、情熱的に伝えていただきました。（司会も南高生）

特に「和菓子屋としての地域貢献は、地域の方々の“思い出の味”になること」という岡本社長の言葉や、夢を叶えるための「夢ノート」の存在は、南高生たちの心に深くとどいたと思います。

■ 止まらない好奇心！ 質問攻めと感動の声

予定時刻終了後も、商品開発や経営、海外進出の苦労等について、次々と“質問攻め”の状態に。

岡本社長は、一つひとつの問いに、親身にお答えいただきました。

【受講した生徒の感想・気づき(アンケートより抜粋)】

- 「地域の発展と商品開発」:「商品開発や経営、地域貢献の話が具体的に聞けて本当にためになった。“思い出の味になること”という地域貢献の考え方が素敵だった。」
- 「世界への挑戦」:「地域にある和菓子屋さんが世界中で教えていると知って驚いた。海外へ飛び出していく姿勢や強い心を見習って、自分も挑戦したい。」
- 「明日からの行動変容」:「夢ノートのお話を聞いて、私もすぐに実践してみたいと思った。自分の探究活動や将来の仕事について深く考えるきっかけになった。」
- 「地域への誇り」:「和菓子の魅力が十分に伝わった。お店に絶対行ってみたい！」



■ 地域とつながり、世界を見つめる「知の探究」

身近な西日野にある「本物の志」と「グローバルな挑戦」に触れ、探究する面白さや将来のキャリアについての視野が一気に広がる、非常にありがたい機会をいただきました。

お忙しいなか、南高生たちの未来のために、胸が熱くなる、温かい対話の機会を届けてくださった「御菓子司 ことよ」岡本社長様、誠にありがとうございました！

※「水面花火」(錦玉の中に、三色に染めた錦玉をちらし、水面に映る打ち上げ花火を表現。寒天のもつ透明度を活かしたお菓子)の鮮やかで清楚な写真を拝見しました。コロナ禍に思いがけず目にした季節はずれの花火からインスピレーションを得たとお聞きし、その岡本社長様の想いに、とても感銘を受けました。

【お菓子の説明は“INA Valley 伊那バレー”2026/春夏第 7 号 より引用】